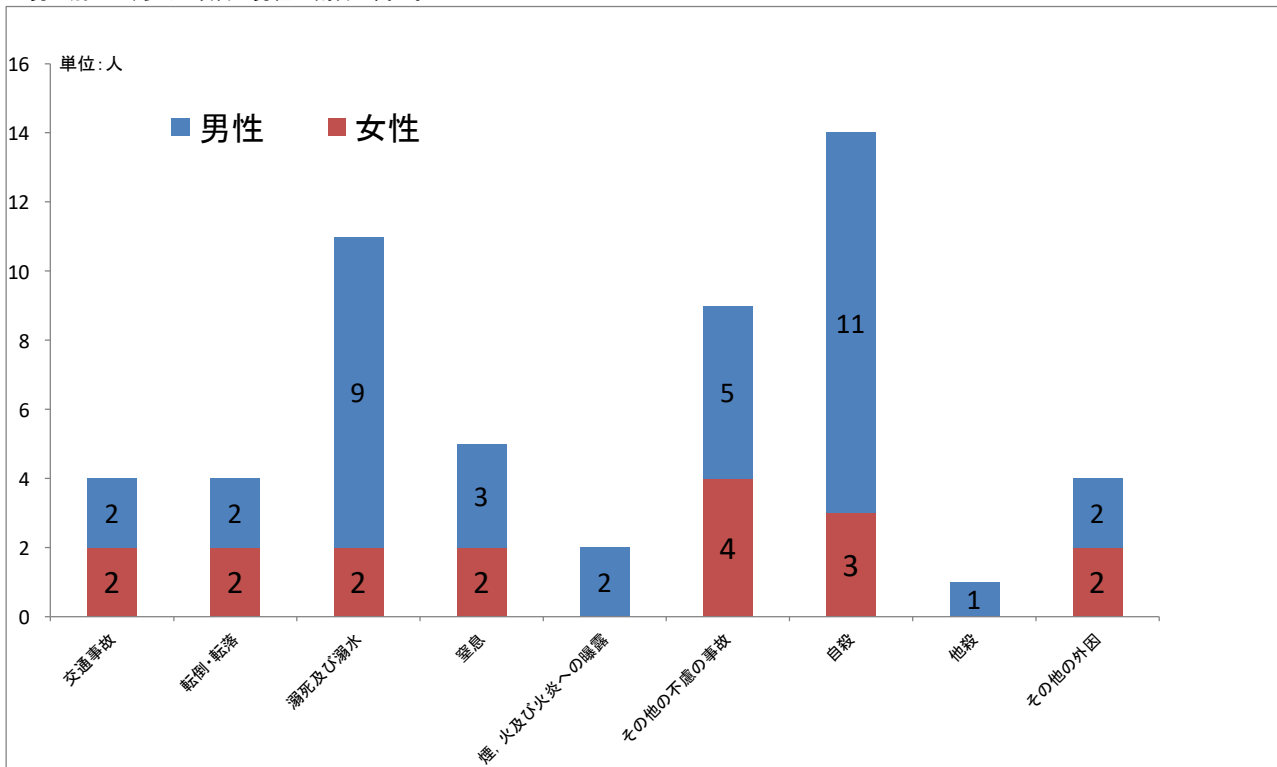


令和3年（2021年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が1番多く、全体の約26%を占め、次いで溺死及び溺水が多い。
男女別では、多くの項目で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、65歳以上の高齢者が多く死亡しており、全体の約72%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は30代から80代まで幅広くなっている。溺死及び溺水が70代から80代で多く発生している。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	その他の不慮の事故	自殺	他殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳			1							1
20歳～24歳	1									1
25歳～29歳										0
30歳～34歳								1		1
35歳～39歳							1			1
40歳～44歳										0
45歳～49歳							2			2
50歳～54歳						2	1			3
55歳～59歳										0
60歳～64歳				2		2	2			6
65歳～69歳						1	2		1	4
70歳～74歳		1	1		1		2			5
75歳～79歳			3			2	1		1	7
80歳～84歳	2		3	1			1			7
85歳～89歳	1	1	3	1		2	2		1	11
90歳～94歳		2			1					3
95歳～99歳				1					1	2
100歳以上										0
合計	4	4	11	5	2	9	14	1	4	54

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。